

2012年度第1回 CSRアンケート 集計結果報告書

(2012.7.4 島根県新しい公共支援事業:CSRセミナー「世界一簡単なCSR報告書の作り方」)

～島根県～

公益財団法人
ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)



目次

P 1	アンケートの概要
P 2～P 6	アンケート結果
P 7～P 8	アンケート用紙
P 9～P 12	特集：CSRセミナー資料（抜粋版レジメ） * 完全版は http://blog.canpan.info/dede/archive/653 をご覧ください。
P 13	定住財団が行う情報発信

この報告書は <https://www.shimane-ikiiki.jp/news/show/2131> にて公開しています。

アンケートの概要

1.趣旨

企業の社会的責任(CSR)への誠実・真摯な取り組みの必要性は、今日までも企業経営の根幹として求められており、昨今の一連の不祥事はCSRの取り組みが不十分な企業が、市場や消費者等からの厳しい批判を受けることを、改めて認識させる機会となっています。

しかし、企業が取り組むべき責任は年を追って多様かつ高度になり、個々の企業が独自に取り組むには難しい状況になりつつあります。

そのような中で、地域の課題解決のために活動するNPO(公益・非営利目的の事業に取り組む団体)は着実に力を伸ばしており、自社や地域が抱える課題に対し、NPOとの協働で取り組む企業も全国的に広がりを見せています。

また、本県においても、企業や地域が抱える活動に対して、NPOとの協働で取り組む企業が増えることが強く期待されます。

こうしたことを踏まえ、本報告書はCSRへの取り組みにおいて、NPOとの協働がどのように実施されているかアンケートにより調査・集計し、その結果を企業と県民活動団体相互に有益な協働への、足掛かりにしていきたいという趣旨のもと作成に至りました。

2.調査対象

島根県内の企業、および県内に支店や工場、営業所等を置く事業所から任意で抽出しアンケート調査を行った。(約800企業)

3.調査内容

次の8つ設問に対して「これまで」と「これから」の取り組みについて回答。

- ①二酸化炭素の削減 ②地域の自然環境 ③職場づくり ④採用や育成
- ⑤子育て支援 ⑥福祉サービス ⑦地域の活性化 ⑧防犯・防災

自社の姿勢を4段階で回答し、具体的な取組内容を記入。

A: 自社のみ B: 他社と連携 C: NPOと協働 D: 消極的

また、あわせて「しまね社会貢献基金」、「CSR報告書作成」についての調査も実施。

(アンケート・記入例はP7～P8をご覧ください。)

4.調査期間

2012年5月～6月の2か月間

5.アンケート回答団体数

回答団体数85社／800社

お問い合わせ先

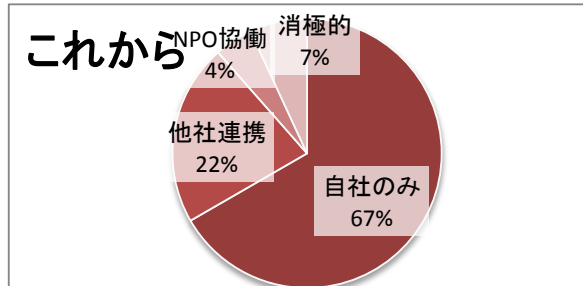
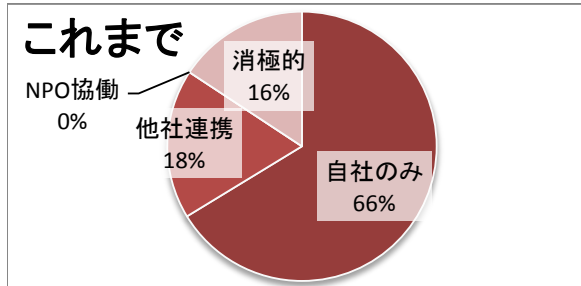
公益財団法人ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 (しまね県民活動支援センター)

〒 690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

TEL 0852-28-0690 E-mail shimane@teiju.or.jp 担当 森山・平野

Q1. 二酸化炭素(CO2)の削減について(生産や配送・販売まで全業務の省エネ等) 複数回答あり

CO2削減		計	こ れ か ら			
			自社のみ	他社連携	NPO協働	消極的
計		89 87	58 67%	19 22%	4 5%	6 7%
こ れ ま で	自社のみ	59 66%	52 57%	7 8%	3 3%	0 0%
	他社連携	16 18%	5 5%	15 16%	2 2%	0 0%
	NPO協働	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	消極的	14 16%	0 0%	2 2%	0 0%	6 7%



◇既存の取組み

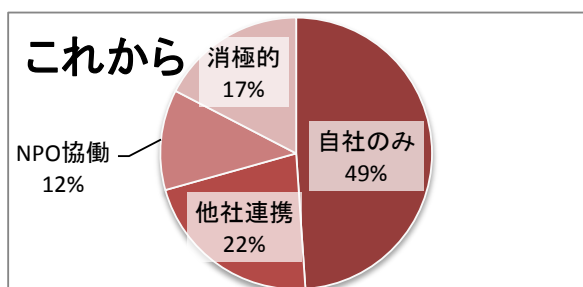
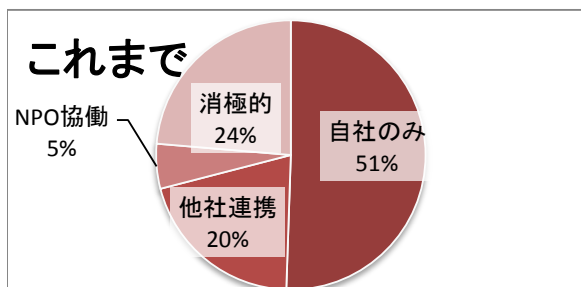
県内2,114社(H24.3.27現在)が参加している「しまねストップ温暖化宣言」に基づき、アイドリングストップ運動など実践していることが多い。(事務局は島根県中小企業団体中央会)
 個別回答では、節電、省エネが最も多く26件。またクールビズ、冷暖房の温度調整、休み時間の消灯など。啓発ポスターを貼っている事業所もある。
 LED導入4件、太陽光発電設置3件、エコカー導入2件など最新の省エネ対策の動きも。
 その他、ISO14001導入2件、自転車通勤促進2件。リサイクルトナーカートリッジ、壁面緑化、屋上緑化も各1件。

◇今後の取組み

LED導入5件、エコカー導入5件など。
 「CO2削減目標を2009年比3%減」と具体的な数値目標を設定しているところも。

Q2. 地域の自然環境の保全・保護について(事務所近隣や原材料生産地の森・川等) 複数回答あり

環境保全		計		こ れ か ら							
				自社のみ		他社連携		NPO協働		消極的	
計		93	92	45	49%	20	22%	11	12%	16	17%
こ れ ま で	自社のみ	47	51%	42	37%	9	8%	3	3%	0	0%
	他社連携	19	20%	7	6%	18	16%	4	4%	0	0%
	NPO協働	5	5%	0	0%	2	2%	5	4%	0	0%
	消極的	22	24%	3	3%	1	1%	3	3%	16	14%



◇既存の取組み

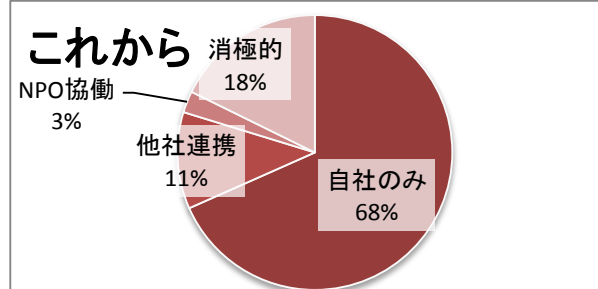
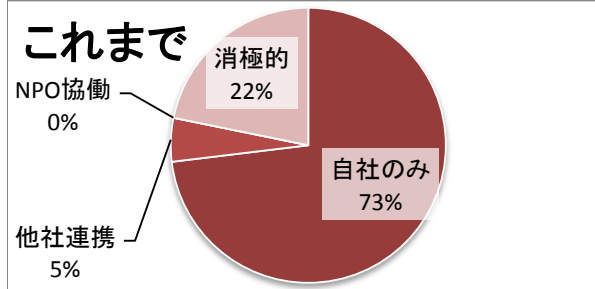
環境マネジメントシステムに関するISO14001導入は4件。最も多かった回答は、清掃の24件で、事業所周辺、近隣の海岸や護岸。
 その他、排水に対して何らかの処理対策を行っている事業所が5件。リサイクル、裏紙利用が2件、植樹・緑化事業が4件。
 環境教育の研修、環境関連事業の顧客を支援、環境キャンペーン協賛、環境団体への寄付は各1件。
 エコアクション21(ISO14001に基づいて環境省が実施している環境マネジメントプログラム。県内29社/全国7,300社認証)の認証取得1件。豊かな農村環境の保全1件。

◇今後の取組み

今までの取組みを継続する方向でいる事業所が30件。FSC(森林管理協議会)認証紙の積極的な利用など。
 森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議への参加。http://www.mori-sanin-net.jp/

Q3. 多様な従業員が活躍する職場づくりについて(柔軟な勤務時間、外国人の含む機会均等等) 複数回答あり

職場づくり		計	これから			
			自社のみ	他社連携	NPO協働	消極的
計		78 / 79	54 68%	9 11%	2 3%	14 18%
これまで	自社のみ	57 73%	52 67%	5 6%	2 3%	0 0%
	他社連携	4 5%	1 1%	3 4%	0 0%	0 0%
	NPO協働	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	消極的	17 22%	1 1%	1 1%	0 0%	14 18%



◇既存の取組み

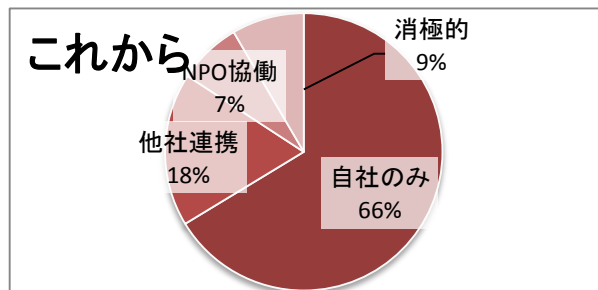
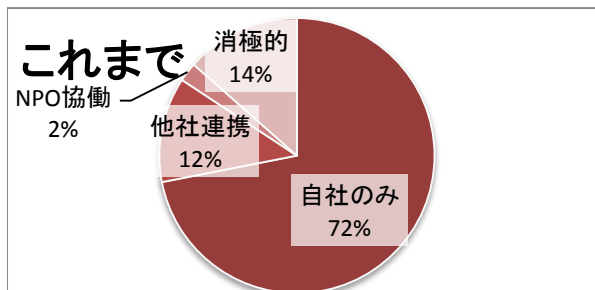
外国人・障がい者の雇用や労務管理に関する勤務体系の改善や見直し、有給消化などを行っているところが多い。少数で、ワークライフバランスの取組みを実施してる。
 具体的には外国人や障がい者の雇用については9件、勤務時間や体系について考慮している事業所が20件。
 その他、女性役職の積極登用、男女共同参画推進室を設置、女性職員の登用が各1件、職場風土改革への取組み(こころカンパニー、くるみん)が1件。

◇今後の取組み

基本的に今まで実施していることの継続が多いが、外国人の雇用や研究生の活用などの予定もあり。
 また、高齢者の継続勤務の体制づくりをかかげている事業所もあり。
 出雲市で外国人住民のサポートをしているNPO法人エスペランサへの協力。

Q4. 従業員の採用や育成について(若者や障がい者などの募集・研修等) 複数回答あり

採用・育成		計	これから			
			自社のみ	他社連携	NPO協働	消極的
計		89 / 95	63 71%	17 19%	7 8%	8 9%
これまで	自社のみ	64 72%	60 67%	10 11%	4 4%	0 0%
	他社連携	11 12%	5 6%	11 12%	2 2%	0 0%
	NPO協働	2 2%	2 2%	0 0%	2 2%	0 0%
	消極的	12 13%	3 3%	1 1%	1 1%	14 16%



◇既存の取組み

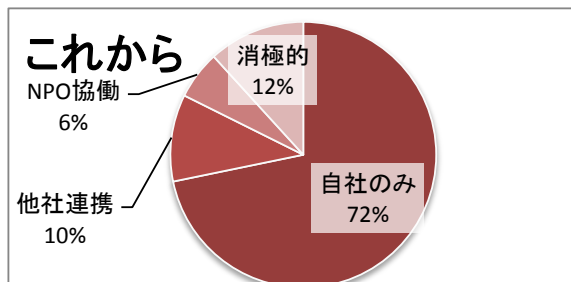
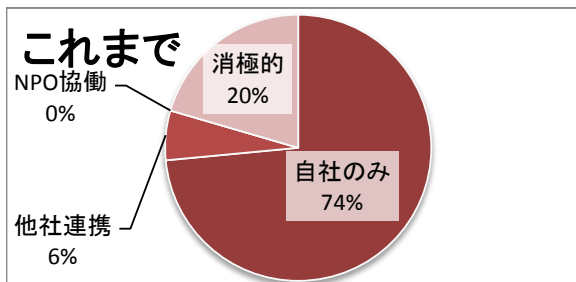
社内外の研修会の実施・参加が23件と、若年者・障がい者の積極採用が23件と同じ件数。
 高齢者継続採用というより、若年者の積極採用に関する取組みが顕著である。
 また、研修会は事業所により社内研修だけでなく、海外研修や、階層別研修、外部研修、インターン研修など様々な形態の研修を組んでいる。
 その他には、通信教育の助成、資格取得支援が各1件。

◇今後の取組み

現在取り組んでいることへの継続実施がほとんどであるが、新たに障がい者雇用を視野に入れるという事業所が4件。若年者の積極雇用・育成が2件。他との連携、人材育成のスパイラルアップ、資格取得の助成、トライアル制度の導入、就職セミナーへの参加、インターンシップ導入が各1件。

Q5. 従業員の 子育て の支援について(託児・保育、相談、文化・体育活動等) 複数回答あり

子育て支援		計		これから							
				自社のみ		他社連携		NPO協働		消極的	
計		83	85	61	72%	9	11%	5	6%	10	12%
これまで	自社のみ	61	73%	56	66%	6	7%	4	5%	0	0%
	他社連携	5	6%	2	2%	5	6%	1	1%	0	0%
	NPO協働	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	消極的	17	20%	0	0%	0	0%	1	1%	10	12%



◇既存の取組み

育休制度への取り組みが最も多く27件、次いで相談窓口の設置が6件、こころカンパニー(しまね子育て応援企業200社)5件、保育所併設2件、くるみん1件と、県内企業の育児への積極的な姿勢がうかがえる。その他、フレックス制4件、ワークライフバランス3件。

*「くるみん」とは、「くるみんマーク」、「くるみん認定マーク」、「次世代認定マーク」、「次世代育成支援認定マーク」などと呼ばれるものの愛称名。少子化対策をはかり、子育て支援など一定の基準を満たした企業や法人などが厚生労働省によって認定され、そのマークを広告や商品(役務も含む)などに付け加えることができるもの。このマークを使用している企業は子育てに十分な対応策を採っているもので、確かな家族計画を持つ家庭や子育てに悩む家族などからその企業に勤務をしたいと望む人が増えると考えられ、企業側と子育てを含む消費者側の双方にとって利点とされる。また環境問題とともに日本の深刻な少子化問題に積極的に取り組む企業であることも表している。島根県内では長岡塗装店(松江)と社会医療法人仁寿会(川本)の2社のみ。

◇今後の取組み

男性職員の育休促進2件、くるみん取得1件。

継続して取り組んでいくと答える企業が多く、さらに育休取得のために促進していくと答えた企業も5件あった。

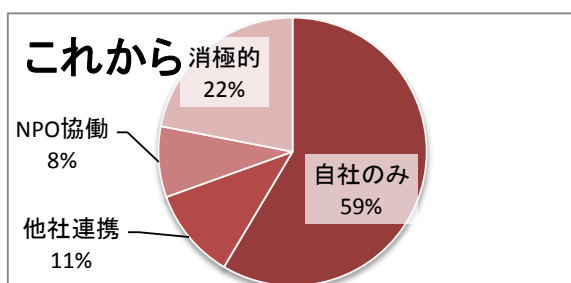
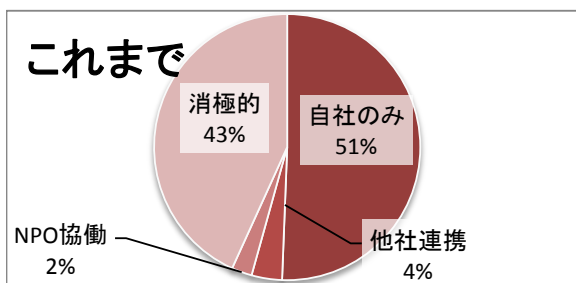
該当者がいないため取り組みがないというところや実施方法が分からないというところもあった。

つながるネ！ ット(しまね子育て子育て支援ネットワーク)への協力。http://blog.canpan.info/tunagaru-net/



Q6. 従業員の家族の 福祉サービス の支援について(高齢者の介護、障がい者の支援等) 複数回答あり

福祉支援		計		これから							
				自社のみ		他社連携		NPO協働		消極的	
計		81	82	48	59%	9	11%	7	9%	18	22%
これまで	自社のみ	41	51%	37	50%	3	4%	2	3%	0	0%
	他社連携	3	4%	1	1%	3	4%	1	1%	0	0%
	NPO協働	2	2%	0	0%	1	1%	1	1%	0	0%
	消極的	35	43%	0	0%	3	4%	4	5%	18	24%



◇既存の取組み

18団体が、育児・介護休業法に基づいた介護休暇、休業、短時間勤務を取り入れている。

要望、相談がないので取り組んでいないと答えたのが2件

障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)を実現することを目的としたあいサポート団体(27企業・団体)認定が1件

◇今後の取組み

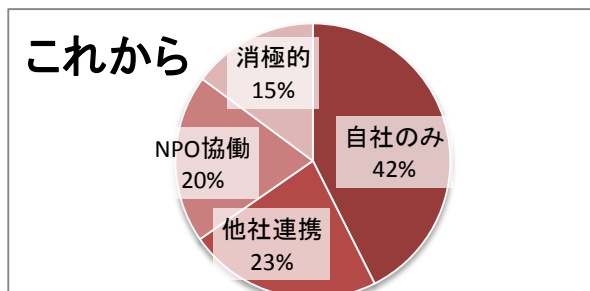
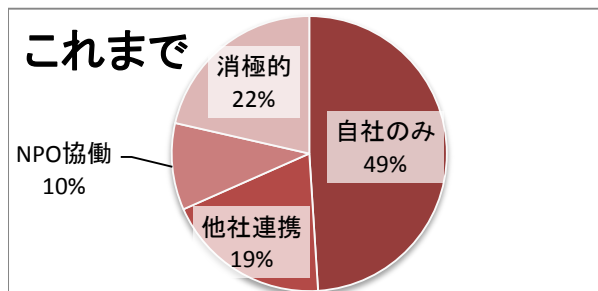
「余裕がない」という回答が2件ある一方、利用促進、更なる推進と内容充実をしたいという回答が5件あった。

要望があれば検討するという回答2件。社内規定には要領があるが、実績がないため取り組み方をいまいち把握できていないという回答もあった。

NPO法人障がい者スポーツふれあいネットワークしまねへの協力。

Q7. 地域の活性化 について(にぎわいの回復、文化・歴史的活動等) 複数回答あり

地域活性化		計		こ れ か ら							
				自社のみ		他社連携		NPO協働		消極的	
計		98	101	43	43%	23	23%	20	20%	15	15%
これまで	自社のみ	48	49%	39	29%	12	9%	12	9%	0	0%
	他社連携	19	19%	8	6%	17	13%	8	6%	0	0%
	NPO協働	10	10%	6	4%	5	4%	10	7%	0	0%
	消極的	21	21%	0	0%	2	1%	2	1%	15	11%



◇既存の取組み

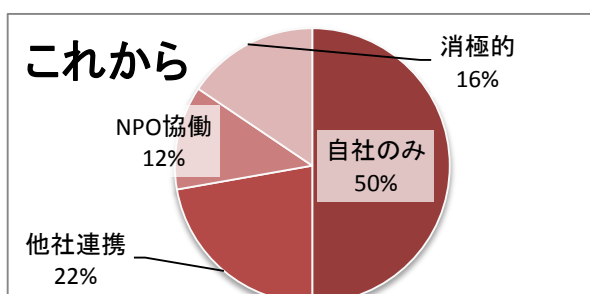
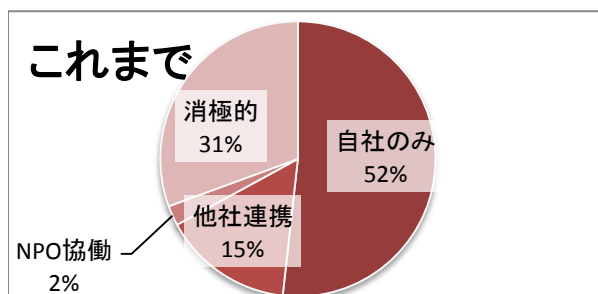
イベント開催・参加・協賛が18件、文化スポーツ支援7件、自治会支援6件、教室開催5件、商工会議所・青年会議所・経済同友会など経済団体への参加5件、ボランティアまたは清掃ボランティア活動6件。自主的な取り組みより、他との連携・協働が目立つ。また、地域の行事にボランティアとして参加すると答える企業が多いことから、地域との連携に力を入れていることが分かる。しかし寄付は3件と、寄付文化の定着のなさがうかがえる。その他、雇用により若者定住対策2件。

◇今後の取組み

NPO法人まちづくりネットワークしまね主催の「松江だんだんシェア傘」プロジェクト参加など、継続や更なる発展を予定している団体が42件と、ほぼ半数が前向きに検討している。その他、地域や行政機関の要請に応じて連携して実施していく1件。雲南市・奥出雲町にまたがるさくらおろち湖を中心に地域づくりに励むNPO法人さくらおろちへの協力。

Q8. 地域の 防犯・防災 について(子供の見守り、災害時の避難支援等) 複数回答あり

防犯・防災		計		こ れ か ら							
				自社のみ		他社連携		NPO協働		消極的	
計		85	90	45	53%	20	24%	11	13%	14	16%
これまで	自社のみ	44	52%	25	29%	6	7%	5	6%	0	0%
	他社連携	13	15%	1	1%	9	11%	1	1%	0	0%
	NPO協働	2	2%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%
	消極的	26	31%	7	8%	3	4%	4	5%	14	16%



◇既存の取組み

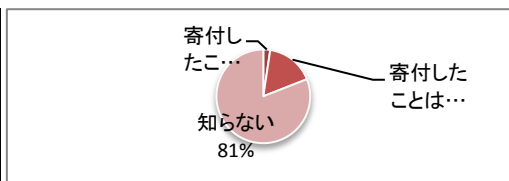
子ども・女性みまもり運動(鳥根県警)参加団体が合計8件。(主な活動は「子ども110番の家」など)その他県警との取り組みは2件と、本項目の特色上、県警との取り組みが目立つ。
市、自治会単位での避難所の提供が6件。うち、福祉施設による「福祉避難所」が2件。災害時の支援、救援物資、避難場所の提供は5件。避難訓練や消防訓練への参加が5件。万一の災害発生時の取り組みも多く行われている。
その他自主的な取り組みとして夜間パトロール、通学時の見守りと挨拶、「黄色い手帳」(山陰中央テレビ主唱)、AEDの設置、小学校へ安心安全の意識啓発、BCP(緊急時企業存続計画)策定、街灯の設置。

◇今後の取組み

継続が28件の一方、地域や他社との協働をしたいという意見が3件。
その他にBCP策定、災害時の帰宅困難者のための食糧備蓄、AED設置。

Q9. しまね社会貢献基金をご存知ですか？

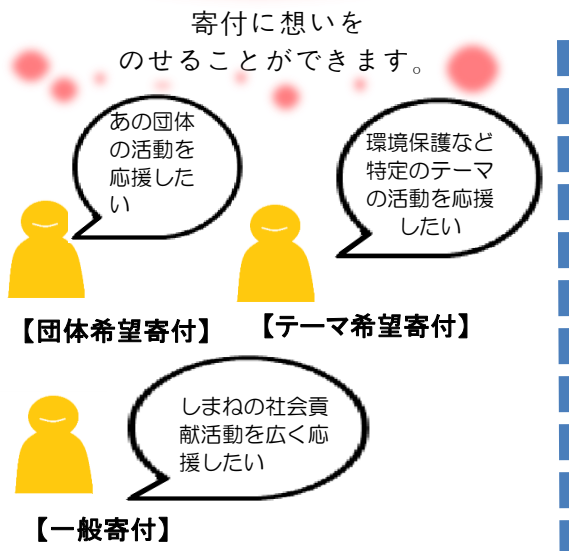
しまね社会貢献基金		
知っていて、寄付したことがある	2	2%
知っているが、寄付したことはない	14	17%
知らない	68	81%



しまね社会貢献基金とは…

<http://www.pref.shimane.lg.jp/npo/fund/>

「個人や企業の皆様からの寄付」と「島根県の拠出金」により島根県が運営する、社会貢献を応援するための基金です。



寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人の方

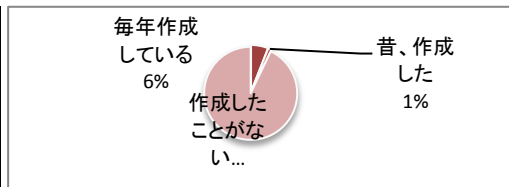
2,000円を超える額を寄付された場合
所得税・住民税の優遇が受けられます。
(所得税の確定申告が必要です)

法人の方

寄付金額の全額を損金算入することができます。
(法人税の確定申告が必要です)

Q10. CSR報告書を作成していますか？

CSR報告書		
毎年作成している	5	6%
昔、作成したことがある	1	1%
作成したことがない	78	93%



県内CSR報告書作成団体(順不同)

- ・リコージャパン株式会社 島根支社
- ・日本製紙ケミカル株式会社 江津事業所
- ・株式会社 日立ソリューションズ
- ・株式会社 日立メタルプレシジョン
- ・株式会社 島根銀行

定住財団では、県民の方々や求職者の方々に閲覧いただけるように、交流サロンに「CSRコーナー」を設置しています。

CSR報告書をお送りいただければ、掲示しますので、ぜひお送りください。



(参考)IIHOE代表 川北 秀人氏(本セミナー講師)監修 **CSR報告書作成企業**

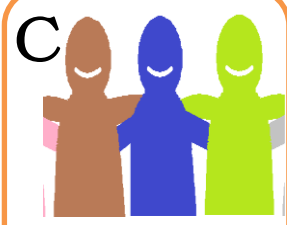
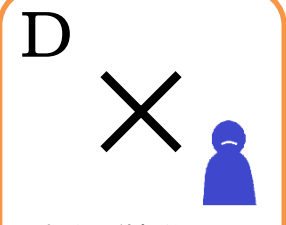
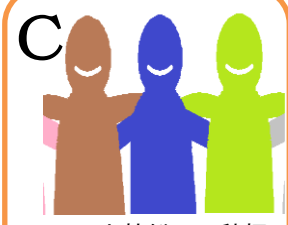
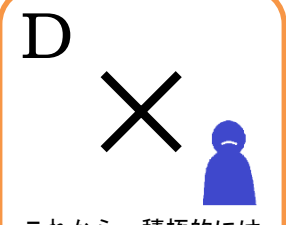
※12、13は「市民との対話」支援

No.	会社名	CSR報告書URL
1	株式会社 アドバンテスト	http://www.advantest.co.jp/about/crreport/index.shtml
2	アルパイン 株式会社	http://www.alpine.com/j/investor/library/csr.html
3	伊藤忠商事 株式会社	http://www.itochu.co.jp/ja/csr/report/
4	カシオ計算機株式会社	http://www.casio.co.jp/file/csr/pdf/542_CASIO-book_all.pdf#search=カシオ計算機株式会社_CSR報告書
5	協和発酵キリン株式会社	http://www.kyowa-kirin.co.jp/csr/report/index.html
6	株式会社損保ジャパン	http://www.sompo-japan.co.jp/about/csr/report/
7	株式会社デンソー	http://www.denso.co.jp/ja/csr/report/index.html
8	株式会社 日立ソリューションズ	http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/communication/#com02
9	ブラザー工業株式会社	http://www.brother.co.jp/csr/download/index.htm
10	三菱化学株式会社	http://www.m-kagaku.co.jp/aboutmcc/RC/report/
11	横浜ゴム株式会社	http://www.yrc.co.jp/csr/information/backnumber/index.html
12	富士写真フイルム株式会社	http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/index.html
13	資生堂	http://group.shiseido.co.jp/csr/report/

企業の社会的責任（CSR）への取り組みを進める上での NPOとの協働に関する調査（回答方法）

※NPO…営利を目的とせず、公益活動・社会貢献活動を組織的・継続的に行う民間の組織団体（法人格は問いません）

Q1. ～Q8. の項目について、
「これまでどう取り組んでこられたか」と「これからどう取り組みたいとお考えか」について、A～Dの中からいくつでもあてはまるものを選び、備考欄には具体例を記入してください。書ききれない場合は、関連資料を添付していただければ幸いです。
※Dを選んだ場合には「何故取り組まないのか」をご記入ください。

これまで（過去）の取り組み		これから（今後）の取り組み	
 A 自社だけで積極的に取り組んできた	 B 他社と連携して積極的に取り組んできた	 A 自社だけで積極的に取り組みたい	 B 他社と連携して積極的に取り組みたい
 C NPOと協働して積極的に取り組んできた	 D これまで積極的には取り組んでこなかった	 C NPOと協働して積極的に取り組みたい	 D これから、積極的には取り組まない

《記入例》

Q1. 二酸化炭素（CO₂）の削減について（生産や配送・販売まで全業務の省エネなど）

これまで（過去）の取り組み	これから（今後）の取り組み
（A,B） 具体的には？ ・〇〇を呼びかけるポスター作製、 ・□□を△△社と共同開発	（C） 具体的には？ ・××市のNPO法人「☆☆」と ～～問題についての会議を開催予定

Q 1. 二酸化炭素 (CO₂) の削減について (生産や配送・販売まで全業務の省エネ等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 2. 地域の 自然環境 の保全・保護について (事業所近隣や原材料生産地の森・川等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 3. 多様な従業員が活躍する 職場づくり について (柔軟な勤務時間、外国人も含む機会均等等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 4. 従業員の 採用や育成 について (若者や障がい者などの募集・研修等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 5. 従業員の 子育て の支援について (託児・保育、相談、文化・体育活動等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 6. 従業員の家族の 福祉サービス の支援について (高齢者の介護、障がい者の支援等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 7. 地域の活性化 について (にぎわいの回復、文化・歴史的活動等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 8. 地域の 防犯・防災 について (子供の見守り、災害時の避難支援等)

これまで (過去) の取り組み	これから (今後) の取り組み
具体的には? ()	具体的には? ()

Q 9. しまね社会貢献基金 をご存知ですか?

☐ 知っていて、寄付したことがある	☐ 知っているが、寄付したことはない	☐ 知らない
--	---	-------------------------------

Q 10. CSR報告書 を作成されていますか? (作成されている方は、最新の報告書をお送りいたしますと喜びます。)

☐ 毎年、作成している (年 から)	☐ 昔、作成したことがある (年)	☐ 作成したことがない
---	--	------------------------------------

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。集計結果をお送り申し上げたく、是非ご連絡先をお教えてください。

■ 貴社名

■ ご担当者様名

■ ご住所

■ TEL

■ E-Mail

2030年の島根のために、 社会的責任と協働をどう加速するか？

-社会責任は、社会のためでなく、
自社のためにこそ、果たす意義がある-

●IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

代表者 川北 秀人

完全版はコチラ↓

<http://blog.canpan.info/dede/archive/653>

念のため、確認！

CSR ≠ 社会貢献

CSR(Corporate Social Responsibility) とは・・・

環境＋人権＋安全＋・・・＝企業の社会におけるすべての責任

「責任ある行動がビジネスの持続的な成功をもたらすとの観点から、企業が事業活動やステークホルダーとの交流の中に、自主的に社会や環境への配慮を組み込むこと」(欧州委員会)

基本は、EHS＋C

● Environment(環境)

● Health(健康)＋Human Rights(人権)

● Safety(安全)＋Security

→ Emloyees' Happiness Standard！(従業員の幸福水準)

● Community(地域またはテーマ社会)

島根県も、これまで20年と、これから20年は違う

	1990年	2000年	2010年	2020年	2030年
計(千人)	781.0	761.5	717.3	656.2	588.2
			→ ▲8%		→ ▲17%
0~14歳	143.8	111.9	92.2	72.5	60.7
			→ ▲35%		→ ▲33%
15~64歳(A) (生産人口)	494.2	460.1	414.1	354.3	310.8
			→ ▲14%		→ ▲25%
65歳~(B) 高齢者率	142.0 18.2%	189.0 24.8%	207.3 28.9%	229.2 34.9%	216.6 36.8%
			→ +46%		→ +4%
A÷B	3.4人	2.4人	2.0人	1.5人	1.4人
75歳~	59.9	85.6	118.7	125.1	139.8
			→ +38%	→ +5%	→ +11%

2020年の島根県は？

- 高齢者率は？ → 34.9% (全国より15年早い) !
 - 高齢者1人を支える生産人口は、わずか1.5人 !
- 75歳以上は？ → 12.5万人 (10年比 4%増) !
 - ヘルパーなど、福祉の担い手をどれだけ必要？
 - 社会保障(医療・介護)費は、いくら増える？
 - 健康増進活動の効果の可視化を急ぐ !
- 生産人口は？ → 15%減 (00年比 23%減) !
- 県税収入は？
- 既存インフラの補修コストは？
 - 道路、橋、公営住宅、上下水道、庁舎・施設、……
- 県債残高は？
- 消費税は、いくら必要？

本気でCSRしなきゃいけない10の理由

- 二酸化炭素の排出規制
 - CO2排出＝エネルギー消費
- 廃棄物の抑制・リサイクル
- コンプライアンス
 - 法令と期待への適応
- 労働・品質・情報の「安全」
- BCP(緊急時の事業復旧)
- ブランドの脆弱さ
- 原材料の持続可能性
 - 生態系からの恩恵を守る
- 雇用上の魅力
 - 働き続けやすさ＝安心・献身
 - 多様な人材の活用
 - 市場の多文化・多国籍化に対応
- 独自性・ブランド強化
- 地域における信頼

→ 守りのCSR

(CSR調達への対応)

→ 攻めのCSR

(新しい付価の創出)

慈善的な配分から、戦略的な投資と協働へ 企業とNPOとの協働の領域(博報堂・IIHOE)

本業(business oriented)

(営業・生産部門が担当→専門性高い&重視)

<u>本業に関係する、単発的な社会貢献</u> 例: 売上の一部を寄付 周年記念事業 医薬品メーカーの保健啓発広告 運輸業界の交通安全キャンペーン	<u>本業に直結する、継続的な社会参画</u> (cause-related marketing) 例: NPOへの無償提供・割引販売 NPOとの協働商品開発 NPOとの協働販売促進 IT企業によるIT技術・製品支援
← <u>単発的(content oriented)</u> <u>本業に関係がうすい、単発的な社会貢献</u> (慈善型の協賛: charitable sponsorship) 例: 災害など突発的事態への対処 チャリティー・コンサートへの協賛 社員に対する、地域活動の案内	<u>継続的(context oriented) →</u> <u>本業に関係がうすい、継続的な社会貢献</u> (strategic philanthropy) 例: 障害者の芸術活動支援 継続的な清掃活動 環境や文化に関する連続講座 地域の子どもたちへの就業体験協力

非本業(philanthropy oriented)

(広報・社会貢献部門が担当→専門性形成に課題)

ワーク：世界一簡単な「SRレポート」つくってみましょう

社名・団体名：【P1】 社長・代表の思い：..... 企業理念・行動原則： 事業概要：.....、.....、..... 事業の経緯(年表)：(.....)	【環境】【P2】 これまでの取り組み 廃棄物削減、廃水適正処理、 省エネ、公共交通利用 など 今後の取り組み 排熱利活用、環境配慮調達、 小規模水力・風力発電など
【安全】【P3】 これまでの取り組み 品質管理活動、安全研修、 個人情報管理 など 今後の取り組み CSなど小集団活動、表示の翻訳、 ITセキュリティ強化 など	【人権・健康】【P4】 これまでの取り組み 子育て支援、定期健診、換気、 季節・天候に応じた配慮 など 今後の取り組み 外国人条件改善、健康診断支援、 休暇・短時間制度利用促進 など

セミナー参加者の声

●CSRを誤解していました。働きやすい環境作りまでCSRに含まれるとは...帰りましたら、改めて理解を進めるとともに、すでに取り組んでいるところと全く関心を持っておらず行動を起こしていないところを明らかにしたい。地域が元気であることが企業経営のもとであることをいつも頭に入れて発想に心がけたいです。

●CSRに求められるのは「支援によって生まれる価値」と「協働によるメリット」の明示に眼が覚めました。NPOとしてしっかりした理念のもと、協働によるメリットを生み出す努力が必要と感じました。

●今までの延長線上ではダメ→「地域を耕す」企業。実行すべく努力します。
 しまね社会貢献基金を検討したい。

●我が社もぜひともCSRに取り組みたいです。官庁は総合評価にCSRを加えていただくと、もっとCSR作成企業が増えると思います。

●CSRについて初めて知った。生き残るためには自分たちを守るためではなく対相手を守ることに必要だと自分が勉強していないことにもつながりました。もっと県内企業の方もとてもとても勉強してほしいです

定住財団が行う情報提供です



〈ホームページによる情報発信〉



しまねUターン総合サイト くらしまねっと

Uターン支援メニューの紹介や「しごと」、「住まい」など島根へのUターンに参考となる情報を掲載しています。

<http://www.kurashimanet.jp>



若者と企業の縁結び
しまね就活情報サイト

県内企業の魅力が伝わる情報が満載！
若い人たちの就活を応援するサイトです。

<http://www.gogo-jobcafe-shimane.jp/>



公益財団法人 ふるさと島根定住財団

Uターン支援、就職支援、企業支援、地域づくり支援などの情報を提供しています。

<http://www.teiju.or.jp/>

島根定住 検索

CLICK

ジョブカフェしまねのサイト内の学生登録ボタンから学生のための情報を集約したサイトにリンクしています。ぜひ登録を！



県民活動応援サイト
島根いきいき広場

ボランティアやNPO活動をはじめとする社会貢献活動についてのポータルサイトです。

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>



しまね地域ポータルサイト だんだん

日本財団の公益ポータルサイトCANPANのシステムを活用し、県内のNPO法人やボランティア団体の情報公開をサポートしています。

<http://www.shimane.canpan.info/>



〈情報誌の発行〉



定住支援ガイドブック
行こうかな、しまね

島根にUターンするにあたって、よくある質問とそれに対するアドバイスなどを集めた情報誌を発行し、Uターン希望者等に提供します。



就職情報誌
企業ガイドブックしまね

県内企業の会社概要や採用計画を掲載した情報誌を発行し、大学、高校をはじめ、しまね学生登録者、就職フェア参加者など、県内就職を希望する方に提供します。



Uターン情報誌 ビーンズ

県内企業の情報やUターン者の状況、地域情報などを掲載した情報誌を発行し、Uターン希望者等に提供します。